



2008年11月21日

アクサ、ブラインドサッカー「応援ソングチャリティ」を通じて 全国の盲学校にサッカーゴールを寄贈

アクサ ジャパン ホールディング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長兼 CEO:マーク・ピアソン、以下「アクサ」)は、このほど、ブラインドサッカー(視覚障害者サッカー)の普及と認知向上を目指して6月より実施してきた「応援ソングチャリティ」の受付を終了し、全国から寄せられた寄付金93万6,075円に会社からの寄付金100万円を合わせた193万6,075円を、日本視覚障害者サッカー協会(JBFA)に寄付しました。この寄付金は、全国各地の盲学校に、サッカーゴールなどブラインドサッカーの設備を寄贈する資金として活用されます。



応援ソングCD

ブラインドサッカーは2002年に日本に本格的に導入されたスポーツで、歴史が浅いため、国内での普及が十分ではありません。そこでアクサは今年、「ブラインドサッカーを知ってもらうために応援ソングが欲しい」という選手や関係者の願いに応じて、プロアーティストの力を借りて公式応援ソング「キミノコエ」(小林和子作詞、カズン漆戸宏作曲、カズン歌)をオリジナル制作。この楽曲をJBFAに寄贈するとともに、6月から「応援ソングチャリティ」をスタートさせました。このチャリティは、盲学校にサッカーゴールを寄贈するために一口1,000円の寄付を呼びかけるもので、ご協力くださった方には公式応援ソング「キミノコエ」を収録したCDをプレゼントしました。アクサはこの企画を通じて、より多く子どもたちがブラインドサッカーに出会うことを願うとともに、応援ソングによって、より多くの方にブラインドサッカーの魅力に触れていただくことを目指しています。

なお、この寄付金を利用して、全国各地の盲学校15校に、サッカーゴールなどブラインドサッカーの設備を寄贈する予定ですが、2008年11月21日現在、次の6校へのサッカーゴールの寄贈が決定しています。

- ・ 青森県立盲学校
- ・ 秋田県立盲学校
- ・ 山梨県立盲学校
- ・ 宮城県立盲学校
- ・ 岩手県立盲学校
- ・ 愛媛県立愛媛盲学校



青森県立盲学校の生徒のみなさん
寄贈したゴールの前で



愛媛県立盲学校の教員と生徒のみなさん
寄贈したゴールの前で

日本視覚障害者サッカー協会(JBFA)

国内の視覚障害者サッカーにおける統括組織として、同競技の普及・発展と競技力の向上に寄与することを目的として活動。JBFA理事長には、日本サッカー協会名誉副会長の釜本邦茂氏の実姉である釜本美佐子氏(全国視覚障害者外出支援連絡会会長)が就任しています。詳細は <http://www.b-soccer.jp/> をご参照ください。

AXAグループの社会貢献活動

AXA グループは、フィナンシャル・プロテクション分野で世界をリードするグローバル企業です。ヨーロッパ、北米、アジア・太平洋地域を中心に、世界各国で事業を展開しています。AXA グループは、コアビジネスであるフィナンシャル・プロテクションの延長線上に社会貢献活動を位置づけ、世界各国でさまざまな活動を行なっています。日本では、人生のアクシデントによって困難な状況にある人々をサポートする活動を展開しています。AXA はパリ証券取引所に株式を上場、ニューヨーク証券取引所には米国預託株式(ADS)を上場しています。詳細は www.axa.com をご参照ください。

～ 本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～

アクサ ジャパン ホールディング株式会社 広報部

電話:03-6737-7140 FAX:03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>